

# めいりん

令和5年12月14日

明倫小学校 学校だより 第26号

冬休み直前号 校長 武久 隆弘

笑顔あふれる、学校生活！！



## 保護者の皆様、地域の皆様、



## 今年も、大変お世話になりました

## ～よいお年をお迎えください～

12月23日から、いよいよ子どもたちが楽しみにしている冬休みに入ります。2学期終業式まで、あと数日ありますが、地域回覧の都合上、年末のご挨拶を少し早めにさせていただきます。

本年も明倫小学校の教育活動において、PTA本部役員・各部会の皆様をはじめとする保護者の皆様に、多大なるご支援・ご協力いただきました。また地域の皆様にも、登下校をはじめ様々な場面で、温かく子どもたちを見守っていただきました。ありがとうございました。

年末年始は、どのご家庭も、何かとお忙しいかと思えます。子どもたちができるお手伝いを、自分で考えてできるようにしてください。家族の一員だという自覚が育ちます。また、ゲームやテレビに夢中になって夜更かしをしないように、規則正しい生活をさせてください。

年末年始、伊勢志摩エリアにおいては、いつも以上に、車の数も増えます。交通事故に遭わないように、また知らない人についていけない…など、一人ひとりが十分気をつけるよう、ご家庭でもご指導いただきたいと思います。

新年も「進んで取り組み、ねばり強く努力する子学び合い つながり合う 明倫っ子」の育成をめざし、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。どうぞよろしく願いいたします。各ご家庭・地域の皆様におかれましては、ご健康に十分ご留意され、どうぞよいお年をお迎えください。明日14日からの個別懇談会も、よろしく願いいたします。

あとわずかで、  
冬休み！！



## 4年生が、福祉体験教室を受講しました！！

11月27日、4年生が伊勢市健康福祉部の「高齢・障がい福祉課」の方から、「キッズ サポーター」の観点の授業を、5・6限目の2限にわたって学年全員で受けました。

5限目は、本日の授業のねらいである「キッズ サポーター」についての説明・確認後、「障がい」の種類とどんな配慮が必要なのかについて学びました。そして6限目には、片方の手に軍手をはめて、片手だけで折り紙をしたり、アイマスクをして友だちに補助をしてもらって歩行してみたりして、疑似体験にチャレンジ。これまで、両手で作業をするこ



と、特に目で判断して行動できることが、「当たり前」と思い込んでいたみんなでしたが、「障がいをもたれた方」の立場に立っていかに行動すべきか…について考える、とてもいい機会となりました。今後、様々な出会いや体験の中で、「サポーター」として適切な行動ができるようになっていけると、いいですね。



# 1年生が、チューリップの球根を植えました！！



11月29日、1年生がチューリップの球根を、夏まで朝顔を育てていた鉢に植えました。

業務員の大倉さんに応援をしていただき、順番に鉢に培養土を入れ、赤・白・黄・紫色から各自が希望した色の球根を鉢

に。1球ずつでしたが、全員が丁寧に作業を終えることができました。冬の寒さを越え、春に色とりどりのチューリップの花が咲き誇るのが、今からとても楽しみです。

# 6年代表が、「人権フォーラム」に参加してきました！！

11月29日の午後、6年生6名が、明倫小学校の代表として、「伊勢市小学生人権フォーラム」に参加してきました。このフォーラムはコロナ禍のため、ここ数年は集合形態ではなく、オンライン形式で実施されてきました。4年ぶりに、市内22小学校の代表がいせトピアに集い、2校の人の作文発表について、思い思いの意見や感想を述べ、人権について改めて考えるいい機会となりました。



最後のまとめとして、伊勢市教育委員会のコメンテーターの先生が、人権を尊重していくために、「知る・つなげる・行動する」3つのことがとても大切であることを、話してくださいました。今後、今回の貴重な体験を、明倫小学校の仲間、工夫して還流していく予定です。自ら「人権フォーラム実行委員」となって、フォーラムに参加したみなさん、全員が自分の考えを発表するなど、本当にいい経験ができましたね。

# 伊勢市教育美術展がありました！！

12月2日から5日の3日間（4日は休館日）、いせトピアにおいて、市内小中学校の絵画や書写（習字&書き方）が一堂に会する、「伊勢市教育美術展」がありました。（今回は、立体作品展示なし）



コロナ禍で、ここ数年間はWeb開催でしたが、今年度は、久しぶりの会場開催。本校からも、各学年代表の絵画・書写作品を出品。多くの市民の方に、ご覧いただきました。終業式の日、出品者に賞状をお渡しします。

# みんなで「今年の漢字」を予想してみました！！

～ 明倫小では、12名のお友だちがピッタリ賞「税」でした ～

12月12日の京都・清水寺での発表を前に、2年生から6年生の中で198名の人（一部先生も含みます）が、「今年の漢字」を予想してくれました。発表された漢字は、「税」。1年を通して増「税」議論が活発に行われ話題となったこと、インボイス制度やふるさと納「税」など、多岐に



渡る「税」にまつわる話題が取り沙汰されたこと…などが、選ばれた理由とのこと。まさに2023年（令和5年）そのものですね。な、なんと、明倫小では、高学年でピッタリ賞の人がいました。さらに、2位「暑」・3位「戦」を選んだ人も多数。来年は、どんな漢字が選ばれるでしょうか。冬休み中も、読書や新聞を読む機会が増えるといいですね。